

結婚応援サポーターにご相談ください



今年度、市の委嘱を受け、結婚活動（婚活）の支援に理解と熱意のある市内在住の3人が結婚応援サポーターとして活躍しています。3人に結婚応援サポーターの活動や婚活事情などインタビューしました。



石澤令子さん（長倉在住）

平成21年8月から県マリッジサポーターとしても活躍中。自宅を開放し、年に数回婚活パーティーを開催している。



山崎静雄さん（下村田在住）

平成23年9月から県マリッジサポーターとしても活躍中。市でも結婚相談員として3年間活動した。



川野和彦さん（鷺子在住）

平成24年9月から県マリッジサポーターとしても活躍中。平成30年度マリッジサポーター県北地域活動協議会会長。

結婚応援サポーターになったきっかけ

石澤さん

一仕事をしている時から出会いの仲介をしていて、退職後は仲人業をやろうと思っていた。ある時、仲人さんの仕事を見る機会があり、人のためになるその仕事にさらに魅かれていたところ、県マリッジサポーターの募集があったので申し込んだ。

山崎さん

一旧大宮町時代に民生委員児童委員協議会で縁結びサポーターという結婚支援活動に携わり、県の結婚支援相談員を知った。退職を機に人の役に立ちたいという思いから県マリッジサポーターに登録をした。

川野さん

一地域や職場での身近な人たちの未婚化、晩婚化が目立つようになってきて、これをどうにかしないといけないと思うようになった。過疎化が進み人口減少が進んでいくことを食い止めたいという大きな思いがあった。ちょうど職場の先輩が定年後に県マリッジサポーターをやっていて、一緒にやらないかと誘われ、活動を始めた。

婚活事情（男性編）

川野さん

一35歳から39歳ぐらいの男性は、対象となる女性を見つけやすいが、40歳を過ぎると徐々に相手を見つ

けにくくなっていく。男性の方が結婚したいという思いが切実だが、現実には厳しいものがある。

山崎さん

一女性の生活力や地位が向上してきている中、男性が非正規での雇用も多いため、婚活をしてもお見合いまで進むことが難しく狭き門となっている。男性はお見合いまでは非常に前向きだが、お付き合いするとすると、相手を誘うとか電話で話をすることをためらい、積極性に欠けてしまうことも多い。結婚したい気持ちはあるが行動力が伴わない。

婚活事情（女性編）

川野さん

一昨今、女性が本気で結婚を考えるのが30歳ぐらい。女性は会う前に男性のプロフィールだけで判断することも多い。ぜひ本人にお会いして欲しいと思う。

石澤さん

一女性にどんなタイプが好みなのか聞くと、具体的なイメージを持っていない場合が多い。また、お見合いをしてもその日のうちに決断をする人が多く、なかなかお付き合いに進まない。

川野さん

一100%完全だと思う相手は難しいので、まずはお付き合いから始めて欲しい。

婚活を考えている皆さんへ

川野さん

一男性には、外見内面も含めた自分の魅力を磨くように努力して欲しい。女性は、相手はこの人だと決める力を付けることが必要。

山崎さん

一親が心配しても私たちがお世話をしても、本人の結婚に対する熱意と行動力がなければ結果は出ない。婚活では何歳までに結婚して、何歳までに子どもをもうけたいという人生設計を立てて、婚活ファーストで取り組む姿勢が実を結ぶ。お見合いやパーティーの時にアドバイスするのが、「出会ったら3時間後にお互いに連絡を取る」「3日以内に会う約束をする」「3週間以内に必ずデートをする」という3つの法則。これを実践すると成功することが多い。

石澤さん

一お見合いをしたら、男性は女性を喜ばせるような力が必要だと思う。カフェでお茶を飲むのもいいが、2人で出掛けて男性が女性を感動させるような場面を見せると、お互いの気持ちが近づくのではないかな。そのためは、デートをすることが決まったら、下調べをしておくことが大切。

山崎さん

一デートはユーモアも交え楽しいデートを心がけて、話の中で女性がどんなことが好きなのか傾向をつかむこと。また、プロフィール写真から受ける印象が大きいので、きちんとした写真を撮ることも大事。写真1枚でその人の婚活の本気度が分かる。

川野さん

一女性が、「この人だ」と決める力を養うには婚活パーティーで多くの人と出会うのが一番いいと思う。自分にはどんな人が合うのか考えを固められる場になるのではないかな。婚活は楽しく結婚を諦めないこと。選ばれる人になるように自分を磨いて欲しい。

山崎さん

一私たちが支援できるのはお見合いまで。そこから先は、本人の熱意や行動力が結果の明暗を分ける。積極的に行動した人が成婚に繋がっている。結婚したいと思う人と出会ったら2人で会う機会を多く持って、お互いに距離を縮めていくこと。お誘いを待つのではなく、自ら行動を起こして欲しい。

石澤さん

一女性は、男性の良いところや尊敬できる部分を見てよく理解するよう努力すること。また自身の趣味や生活の充実も大切だが、婚活中は婚活に力を入れるよう努めて欲しい。

山崎さん

一出会いがないという方に伝えたい。休日に家に居るのでは出会いはない。積極的に同世代の人がいる場所に外出し、各種スポーツやサークルなどに参加する。外出する時には服装や身だしなみに気を付け、必ず鏡を見てから出掛けること。また、日頃から話題作りを心掛け、相手には目配り気配り思いやりを持って接することがとても大事。

日曜結婚相談会では

川野さん

一毎回1日当たり3～4人相談者が来る。相談会の認知度が上がってきたのか、女性の相談者も増えている。出会いの場は作れるので、まずは相談に来て欲しい。

山崎さん

一市の結婚応援サポーター制度を説明して、会員登録すれば出会いの場の設定ができるということ話をしている。登録料、紹介料、成婚料などすべて無料で行っているため、費用の面でも心配はない。

石澤さん

一紹介する人には責任を持っているし、これまでトラブルもないので安心して相談して欲しい。



日曜結婚相談会

日時：毎月第3日曜日 9時から16時（受付時間9時から15時）

場所：おおみやコミュニティセンター

相談無料。（事前予約制）男女を問わず、本人のほか家族の相談も可能です。相談内容は秘密厳守ですので、安心してご相談ください。平日の相談は、希望があった場合のみ日時と場所を調整して実施します。



婚活イベント開催中
詳細は、市ホームページ、
広報常陸大宮お知らせ版
をご覧ください。

■問い合わせ■ こども課 こどもグループ ☎52-1111(内線137)